寄付者のご芳名

当協会にご寄付いただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。
（匿名希望を除く。50音順、2022年8月末現在）
この紙面をかりて厚くお礼申し上げます。

戸村　智憲　様
佐久総合病院 国際保健委員会
一般社団法人生産技術振興協会

編集委員のページ

加藤　美寿季
大阪国際がんセンターレジデント

大阪大学医学部在学時にタンザニアで国際保健医療と出会う。“野戦病院”での初期研修を経て、博士課程で疫学・公衆衛生を勉強中。

暑さから地球を想う

この原稿を書いている今（2022年6月）、とても暑いです！弊会でも最近は『プラネタリーヘルス』をキーワードにした勉強会を開催していますが、こうも暑いと地球の健康を考えざるをえません。今思えば、私が小中学生のときから、地球環境に関するポスター作成課題で「地球が病気です」などと書かれたものがよく入賞して貼り出されていた気がします。あの頃から、特に『プラネタリーヘルス』といった単語を学んだわけではなくても、みんな心のどこかで『地球の健康』というものを考えていたのかもしれません。

梅雨はあっという間に終わってしまいましたし、まだ7月にもなっていないのに40度超えの地域がたくさんあります。地球のことを考えると、数年前のようにエアコンをガンガンに付けるというのは避けていきたいと思い、いい暑さ対策を考えている日々です。プラネタリーヘルスの時代において、しんどくない範囲内で、かつ地球に優しい対策を編み出していく必要性もあるのでしょう。ここでいわゆる“おばあちゃんの知恵袋”的なものが役に立つのかなと思い、インターネットで検索したところ、打ち水や風鈴、グリーンカーテンなどが出てきました。海外では香辛料の入った暑いスープを飲んで汗を出して涼をとる、なんてところもあるようです。寒さ対策と比べて、暑さ対策のレパートリーはなんだか少ないように思いました。皆さんはどんな工夫をされていますか？よろしければ教えてください。